

## 提 案 概 要

(北九州市旧九州鉄道本社 (九州鉄道記念館) 指定管理者)

団体名：九州鉄道記念館運営共同企業体

### 1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) に対する理念、基本方針
<p><b>【理念】</b>          これまで一貫して掲げてきた理念 (施設の魅力・価値の向上、地域ポテンシャルのアップ、持続的振興策の実現) を踏襲し、共同企業体での総合力を活かし、門司港レトロ地区の更なる発展に貢献します。</p> <p><b>【基本方針】</b>          ①私たちは、九州鉄道記念館を、“未来に伝えたい宝”へと高めます。          ②私たちは、門司港レトロ地区の観光振興に取り組みます。</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<p>3社各々の強みを活かした管理運営を行うため、各社からの適材適所の人材を安定的に投入します。これら3社の強固な財政基盤のもと業務を遂行します。</p>
(3) 実績や経験など
<p>過去15年間に培った運営経験・ノウハウを活かし、安定的且つより良い施設管理・運営を実施し、魅力ある九州鉄道記念館を創ってまいります。</p>

### 2 管理運営計画の適確性

<b>【有効性】に関する取組み</b>
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州一円からの集客を基本に、地元・北九州を中心にファミリー層をコアターゲットとして誘客強化を図ります。</li> <li>・JR九州グループの強みを生かして鉄道の専門性・総合力を発揮し、博物館的付加価値を高め鉄道ファンづくりを強化します。</li> <li>・“楽しく夢のある学びの場”としての質を高めるため各種コンテンツ・イベントを企画します。</li> <li>・営業力及び広告宣伝強化を行い、門司港レトロ地区の観光振興に貢献します。</li> </ul>
(2) 利用者の満足度
<p>鉄道に関する専門性・総合力と”お客さまの視点に立った心のこもったサービス”を実践し、お客さま満足度100%を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者へのアンケート調査などを通して、多様な利用者のニーズを確実に把握し、お客さま目線に立った魅力ある施設づくりに努めます。</li> <li>・利用者からの苦情に対し、誠意をもって対応するとともに、組織的な改善・解決を図ります。</li> </ul>

## 【効率性】に関する取組み

## (3) 指定管理料指定管理料及び収入

- ▶施設の維持管理については施設の安全、安定稼働を実現するため計画的な保守管理を実施し、効率的、効果的なメンテナンスを実施し、経費の節減に取り組みます。
- ▶施設の魅力・価値向上をはかり、さらなるお客さま満足度向上を図るため、“お客さまの視点に立った心のこもったサービス”を実践します
- ▶施設の利用促進のための、魅力的なイベント等の開催と効果的な広報活動及び積極的な営業・宣伝活動を実施し、利用者の増加と収入の確保に努めます。

## (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- ・お客さまに安全・安心してご利用して頂くために建物・施設の安定稼働は必須であり当館施設を熟知している事業者継続委託、長期一括契約などにより価格低減に努めます。
- ・施設、展示物の経年劣化により、修繕等が多発傾向にあるものの、日々設備管理に従事している職員等により可能な限り直営で実施することにより経費の節減に努めます。
- ・自主事業（テナント運営等）の魅力向上を図り、収益を指定管理業務に充当し、施設運営に役立てます。

## 【適正性】に関する取組み

## (5) 管理運営体制など

- ・過去15年の経験を踏まえ、3社による運営共同企業体体制のもと鉄道の専門性、総合力を活かした運営を行います。
- ・館長以下3名の職員は、永年にわたり当館の管理運営に携わり、経験・知識も豊富であり、それぞれの専門分野に応じた業務分担を行います。
- ・展示運営補助業務スタッフや清掃スタッフなどに対し、知識・技能の向上を図るため定期的に研修を実施します。

## (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ・平等利用：法令等を遵守し、正当な理由なく施設利用の拒否や不当な差別的扱いは行いません。
- ・安全対策：施設の定期点検、日常点検により安全の確保に努めます。
- ・危機管理体制：職員に対して定期的な訓練を実施し、事故発生時には利用者の安全を最優先に迅速に対応できるよう危機管理マニュアルを整備するとともに、事故の再発防止に努めます。

## 提案額（千円）

令和5年度	55,569千円
令和6年度	55,569千円
令和7年度	55,569千円